



◀収益確保のために、
会計事務所のサポートが求められる

今後の企業経営に不安を感じる経営者に対し、税理士としては最善のアドバイスを提供したいところだ。こうした中、収益を確保して「継続的に勝てる仕組み」を顧問先と一緒に作り上げるツールが開発された。戦略立案からマネジメントの仕組みまでを体系的に学ぶ研修もセットとなっており、早くも申し込みが相次いでいる。

会 計事務所が顧問先の経営戦略の策定および実行を支援し、収益を確保してもらうための新しいツールが誕生した。(株)BSC経営(青森・青森市、代表取締役=若山恵佐雄税理士)が開発した「戦略参謀」システムだ。「MAS監査によって有効な経営支援業務を展開してきたが、収益確保の仕組みを作るところで悩んでいた。そこで、バラ

ンススコアカードの考え方をベースにシステムを構築した」(若山税理士)という。

戦略参謀では、企業の現状分析から事業活動の範囲や領域を絞り込み、環境分析で顧客層を特定するといった過程を経て、「実現可能性の高い戦略」を立案。これを基に戦略実行管理や戦略評価などを行っている。「現状分析と仮説の設定、仮説

BSC経営 経営戦略を立案&管理

顧問先と作り上げる新ツール

の検証を繰り返すことで、計画と実績の乖離(かいはり)を埋めることができる」(同)。

一度導入すれば、ほかのパソコンに台数無制限でコピーできる点も大きな特徴だ。これにより、事務所内の担当者ごとに利用できるほか、顧問先のパソコンにコピーすれば、顧問先自身が進ちょく管理などをできるようになる。

なお、同システムは現在、「ツールのみ」の提供は行っていない。というのも、「戦略参謀を使いこなしてもらうためには、戦略立案からマネジメントの仕組みまでを体系的に理解し、顧問先に経営の本質を伝えるノウハウを身に付けていただくことが必要」(同)といった考えがあるためだ。そこで、全4日間の研修

「経営戦略塾」の受講がシステムの利用条件になっている。講師はメーソンの若山氏のほか、MAS監査の第一人者でもある岩永経世税理士をはじめ、人事制度支援を行う松本順市氏、経営戦略コンサルタントの長山伸作氏など。所長と実行担当者の2人での参加を推奨しており、現在のところ今年12月16・17日と平成23年1月18・19日の全4回講座の都内での開催が決まっている。

研修参加料金(2人まで)は、「戦略参謀」システムの利用料込みで30万円(税別)。「数字に基づいた現状分析を得意とする税理士・公認会計士に役立ててもらいたい」(同)。「MAS監査を実践する会計事務所と一緒に発展を続けていきたい」(同)。